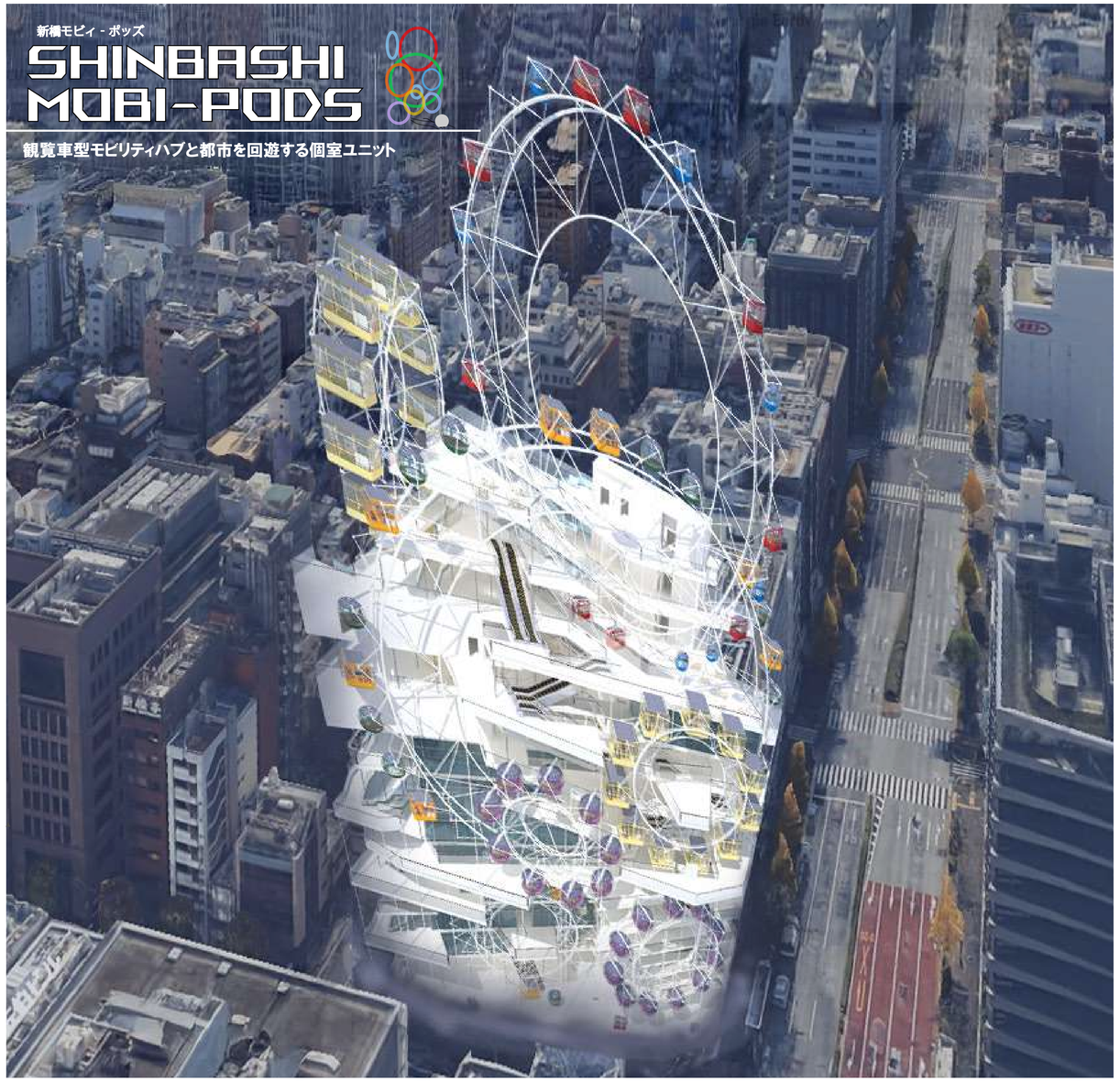
新橋モビィ - ポッズ

SHINBASHI MOBI-PODS

観覧車型モビリティハブと都市を回遊する個室ユニット

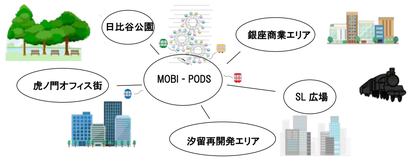


01. 猥雑な街 × 観覧車建築

新橋は、鉄道発祥の地として多くの交通機関が集結する都市交通の要所である一方駅ナカや周辺には立ち止まれる余白が少なく、通過されやすい都市でもある。再開発ビル群と昭和な路地が混在する猥雑な風景は、都市の魅力を形作る個性だ。そこに非日常的な垂直装置としての観覧車建築を挿入し、喧騒から浮かび上がる視点と、滞在体験を創出する。 通過都市を滞在都市へ変換する体験型の建築を提案する。

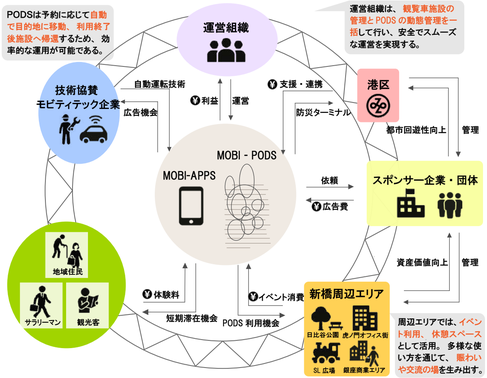
02. 街に展開する個室モビリティ「PODS」

観覧者に搭載された個室モビリティ「PODS」は眺望や浮遊を体験するだけに留まらず着脱によって都市へと展開され、回遊する。移動と滞在を結ぶ結節点として機能する可動式個室ユニットだ。施設内では眺望や浮遊体験の起点として拠点性を持ち、着脱後は、公園やオフィス・路地裏など多様な場所に展開され、人々のニーズに応じた、様々な機能を持つ居場所として、 都市全体に新たな滞在のレイヤーを挿入していく。



03. アプリと連動する UX 事業計画

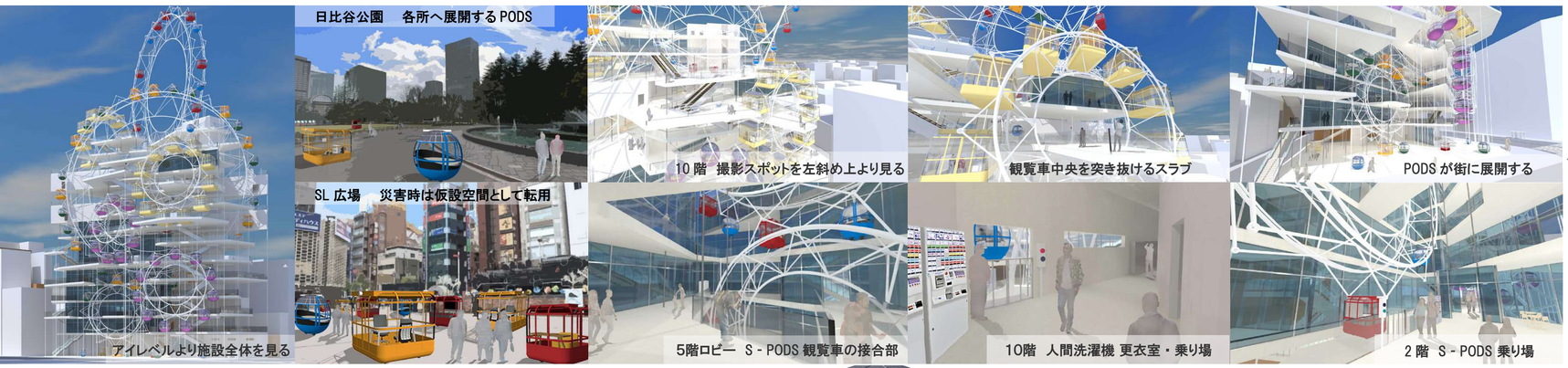
アプリによる予約・課金・施設での動態管理を通じて都市と利用者をダイレクトに結びつける、 UX 志向のモビリティサービスを計画する。



①都市機能ストレージ拠点化
観覧車施設は、PODS の着脱・格納を担う都市のモビリティハブとして機能する。メンテナンス機能に加え、ドロップイン、サブスク運用を組み合わせ持続可能な運用を実現する。

②災害時は仮説空間として転用
PODS は平常時は移動型サービスユニットとして、災害時は仮設空間に即時転用可能。都市に分散配置され、防災インフラとなることで、都市のレジリエンスを高める。

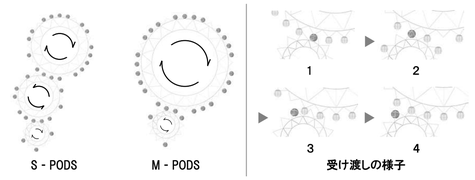
③アプリ連動による動態管理
利用者はアプリでPODSの稼働状況を確認し、任意の場所・時間に呼び出せる。個人利用に留まらず企業自治体との連携で公共性と収益性を両立する。



04. 歯車型機構によるPODS循環構造

04.1 歯車型回転連結システムによる観覧車間のPODS循環

複数の観覧車構造が歯車状に連結され、 それぞれが時計回り・反時計回りに回転することでPODSが観覧車間で循環する。S - PODS 用は3基、M- PODS 用は2基が連結されており、 空中で PODS を受け渡しが行われる。図中に、その循環の様子を示した。

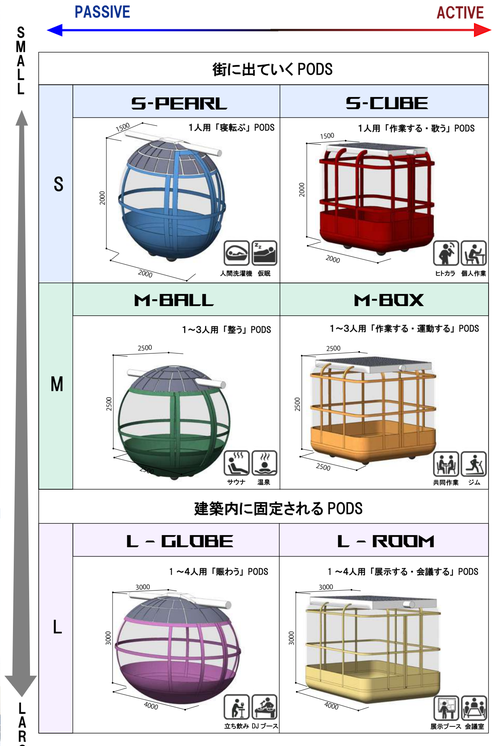


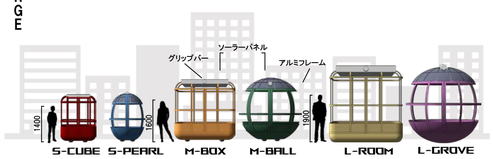
04.2 着脱を可能にする回転式アーム機構

PODS上部の伸び縮みするグリップバーを、観覧車構造の回転アームが左右から掴み、着脱・受け渡しを行う。観覧車同士の噛み合わせを同期させ、アームが PODS をスムーズにキャッチ＆リリースする回転式アーム機構により、 観覧車間の循環を実現する。

05. 多様な体験を内包する個室ユニット

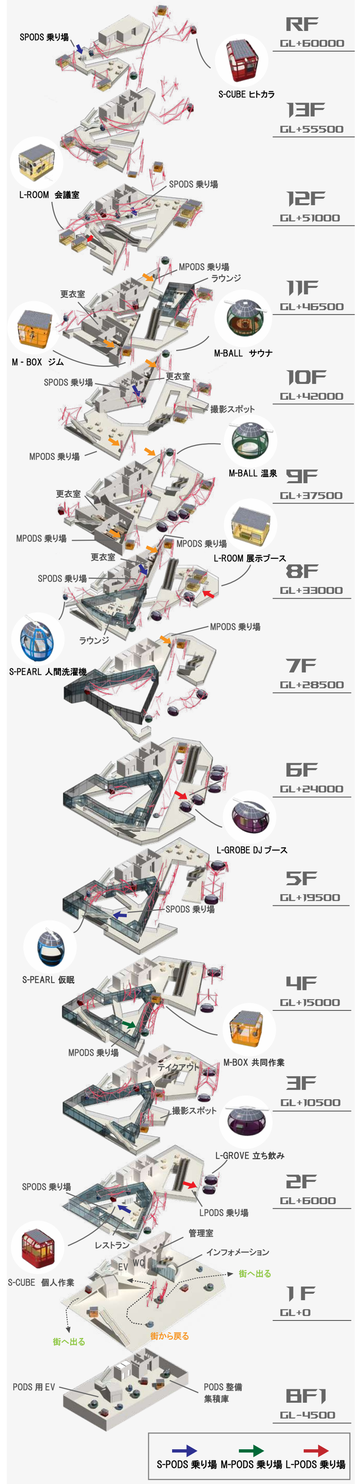
PODS は球体型と箱型に分けられる。 それぞれが3つの規格に分類され、 いずれも癒しからアクティブな要素まで、 多様な体験を提供する。

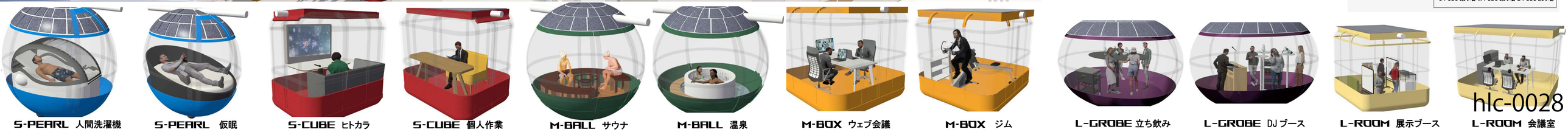




06. 循環する個室アクティビティ

施設内に複数の乗り場が分散配置され、 各ステーションには異なる体験コンテンツが機能的に組み込まれている。





hlc-0028